



うちのイチ押し!

今月号に掲載している講座・イベント・展覧会の詳しい内容を、その事業の担当者が直接PRするコーナーです。

主催 ● 大阪市立弁天町市民学習センター

オーク 弁天寄席

祝! 200回記念スペシャル企画 200人で!

第200回スペシャル! 弁天寄席

参加費
無料

7/18
(祝月)

平成6(1994)年にはじまったオーク弁天寄席
がおかげさまで200回!!これを記念し
笑福亭鶴光一門を迎えてのスペシャル企画です。

- 日 時：7月18日(祝月) 15:00~17:00
- 対 象：どなたでも ●定員：250名
- 会 場：オークホール(オーク2番街6階)
- 出 演：笑福亭学光 旭堂 南鱗
ゲスト：笑福亭鶴光 笑福亭羽光 ナオユキ

ラストチャンス!

先着20名電話受付中!

電話で「いちょう並木を見た」と言ってね♪



8/21
(日)

阿波踊り 本番!(申込不要・無料)

本場徳島のゲスト連を迎え、
みんなで踊ろう~♪

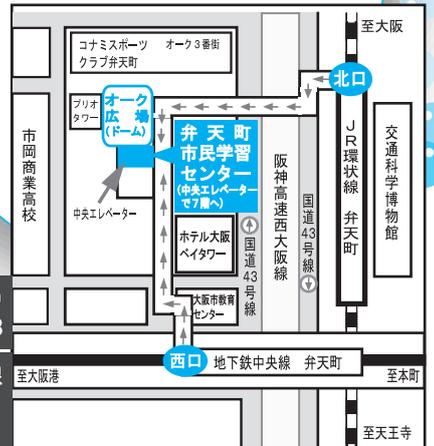
- 8月21日(日) 13:00~
- オーク広場(2階)

阿波踊り体験 連続講座

~踊る阿呆に見る阿呆~同じ阿呆なら踊らにゃそんそん♪~

- 日 時：7月16日、30日、8月6日
すべて土曜日 18:30~20:00
- 対 象：どなたでも ●定員：200名
- 会 場：弁天町市民学習センター(オーク2番街7階)
- 受講料：1500円(3回分)
- 出 演：笑福亭学光 旭堂 南鱗 はなしか連

お申込は
お電話で



申込・問合せ 大阪市立 弁天町市民学習センター (TEL) 06-6577-1430 (FAX) 06-6577-1433

地下鉄中央線「弁天町」駅西口②A出口、又は環状線「弁天町」駅北口より、ORC(オーク)200への連絡通路を通り、中央エレベーターにてお越しください。



おおさか歴史探訪 48

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

茨田のあひる 一天神祭りにあひるのすき焼き一

7月後半になると、大阪の夏を彩る天神祭りが楽しみになってきます。ところで大阪では天神祭りにあひるのすき焼きを賞味する風習があったことをご存知ですか。東京で土用の丑の日に鰻を食べることとよく比較されました。

あひるの産地として、古くより城東区の茨田が知られていました。河内平野はもとは入り江でしたが、大和川や淀川が運んでくる土砂による堆積作用で徐々に陸地化します。ただ湿地も多く残っていて、あひるの養殖に適した環境でした。江戸時代には「河内の泥田(どた)あひる」の名前が残っています。一説には豊臣秀吉によって飼育が奨励されたともいわれています。ただこの頃のあひるはわが国在来種の青首種であり、食用としては嫌味があったといいます。大正期になり品種改良がおこなわれ、「大阪あひる」と呼ばれる白色種ができて需要が急速に増加しました。昭和30年代にピークをむかえ、飼育数は全国1位でした。年間約30万羽の雛をかえし、その肉や卵を全国に出荷していました。一方、欧米諸国では復活祭にあひるの雛のはく製が必要だったので輸出もさかんにおこなわれ、年間約1万ドル余りの外貨を獲得していました。

その後、高度経済成長による都市化が進み、湿地や水路が埋め立てられ、また全国的に鶏の養殖が広まり、あひるは急速に姿を消してゆきました。

(大阪市教育委員会 文化財保護担当)



茨田のあひる(昭和30年ごろ「城東区区」より)